

郷土資料館移転中

足寄発祥の地 中足寄へ

旭町にある郷土資料館は、昭和9年に建てられた旧足寄村役場の建物を利用してきました。しかし、建物が古くなり、損傷が目立つことや資料が増加し、施設として手狭になったことから、町内にある空き公共施設の有効利用を踏まえて、もとの中足寄小学校へ移転することにしました。現在その引越し作業をすすめています。

いままでの資料館は、1階が開拓関係の資料、2階が考古資料、生活関連の資料が収蔵展示されてきました（写真）。

中足寄小学校では、教室を利用して考古、開拓、鉄道、教育、生活など、テーマごとの収蔵展示を計画しています。

中足寄小学校での郷土資料館の開館は平成20年春を予定しています。

また、来年は足寄に役場が置かれて行政団体となってからちょうど100年になります。先人による開拓の苦労やその生活をしのび、私たちの町を見つめなおす機会として、足を運んでみてはいかがでしょうか。



生活用具や考古資料
（土器や石器）で埋
まっていた郷土資料
館展示（2階）
上は11月20日の現況

化石工房に さわれる地層の標本

小学校理科「土地のつくり」に利用



秋は、小学校6年生理科の「土地のつくり」学習のシーズンです。化石博物館としても、館の内外で授業のお手伝いをします。地層見学を終えたある学校から、石の古さや地下の地質の調査方法の説明を求められました。幸い、忠類ナウマンゾウ地質調査の際に採取したゾウ化石が含まれていた地層があったので、興味を持って観察する資料が揃いました。古いほど硬い=しまっている=重い、ことが体感できたようです。

化石工房に、以下の資料をしばらく置きますので、ぜひご覧+さわって下さい。ナウマンゾウの地層は少しずつ崩れますのでお早めどうぞ。

- ①忠類ナウマンゾウ包含層（12万年前） ②螺湾礫岩砂岩層（500万年前） ③茂螺湾層（ベヘモトプス産出層、2500万年前） ④チャート（2億年前） ⑤ボーリング資料（足寄町総合体育館温泉掘削調査、地表～1200メートル） ⑥ビット（ボーリングマシンの刃先）

休館日 || 12月 4日 11日 18日 25日 の火曜日と 30日 31日

博物館の動き 12月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

12月 4日 幕別町札内南小学校のみなさん
 7日 仙美里中学校のみなさん
 12日 JAICA南アジア教員養成学校のみなさん
 13日 釧路市生涯学習センター行事のみなさん
 19日 帯広畜産大学解剖学実習のみなさん
 21日 犬塚則久博士来館・滞在（～27日）
 アショロアの研究の詰め

1976年に発見され、1996年に北海道大学から足寄町に移管されたアショロア。頭骨の研究、学名の命名（*Ashoroa latirosta*）は、2000年発行の当館の紀要第1号の犬塚さんの論文で公表されました。現在、体の骨格の研究が仕上げ段階に入っています。